

## 6.3 推進テーマにおける取組指標の進捗状況

### (1) 推進テーマと取組指標

第2期行動計画では、多様な主体による様々な取組の内容を共有し、お互いに連携しながら取組を推進するため、包括的な「テーマ」を設定しました。そのうち、第2期計画で特に推進するテーマを「9つの推進テーマ」と位置付け、第2期計画を着実に推進するため、各推進テーマに取組指標を設定し、毎年確認（進捗管理）してきました（下表）。

次ページ以降に各取組指標の整理結果を示します。

**表 6.1 9つの推進テーマにおける取組の進捗状況**

推進テーマ	取組指標	現状 2015(平成 27)年度	目標値 2020(令和 2)年度	把握・ 算出方法
①雨水の貯留・浸透機能を保全・再生します	(1)雨水浸透マスの設置基數	112,134 基 <sup>※1</sup>	143,640 基 <sup>※1,※2</sup> (31,506 基増)	実施主体への調査
	(2)貯留・浸透施設の整備量	489 箇所 <sup>※1</sup>	1,780 箇所 <sup>※1,※2</sup> (1,291 箇所増)	実施主体への調査
	(3)調整池改良の実施数	5 箇所 <sup>※1</sup>	6 箇所 <sup>※1,※2</sup> (1 箇所増)	実施主体への調査
	(4)透水性舗装の整備面積	437,398 m <sup>2</sup> <sup>※1</sup>	560,590m <sup>2</sup> <sup>※1,※2</sup> (123,191m <sup>2</sup> 増)	実施主体への調査
②家庭から出る水の汚れを減らします	(5)生活排水処理率 <sup>※3,※4</sup>	92.7%	94.8%	各市町への調査
③環境にやさしい農業を推進します	(6)ちばエコ農産物の認知度	モデル地域： 42.4 % <sup>※5</sup>	1.2 倍	アンケート調査
④川や沼の水環境を改善します	(7)水辺エコトーンの再生	—	整備方法の確立	水草再生 WG の取組実績
⑤ふるさとの生き物をはぐくみます	(8)特に重要な箇所における保全・再生の取組箇所数	0 箇所	5 箇所	生態系 WG の取組実績
	(9)ナガエツルノゲイトウによる実害の解消	0 箇所	1 箇所	生態系 WG の取組実績
⑥水害からまちや交通機関を守ります	(10)河道整備延長	5,337m	2,658m 増	実施主体への調査
⑦水辺を活かした地域づくりを推進します	(11)水辺拠点等の整備箇所数	1 箇所	25 箇所	実施主体への調査
	(12)ソフト施策実施数	4 施策	11 施策	実施主体への調査
	(13)河川敷地の占用件数	0 件	3 件	実施主体への調査
⑧環境学習を活発化します	(14)水環境をテーマとした環境学習実施学校数	69 校	増加	実施主体への調査
⑨共感を広げ、多様な主体との連携・協働を推進します	(15)流域で開催されるイベントとの連携による広報の件数	11 件	61 件	健全化会議の実績
	(16)WEB サイトのアクセス数	2429 アクセス／月	4000 アクセス／月	健全化会議の実績

※1：現状・目標値は、印旛沼に係る湖沼水質保全計画（第7期）で定める値であり、指定湖沼範囲に含まれていない栄町は含まれていません。

※2：目標値は、WG 等によって取組の推進を図り、さらなる積み上げを目指すものです。（以降、全取組指標についても同様）

※3：現状・目標値は、印旛沼に係る湖沼水質保全計画（第7期）に掲げる下水道・農業集落排水施設・合併浄化槽の整備の現状及び目標から算出した値（指定地域内に陸域のない栄町は含まれていない）。

※4：生活排水処理率：「（下水道水洗化人口+農業集落排水施設+合併浄化槽による汚水処理人口）/流域総人口）×100%」

※5：富里市産業まつり（令和元年 11 月 17 日）におけるアンケート結果（n=408）

## (2) 指標進捗状況のまとめ

9つの推進テーマの各取組指標の達成状況を示します

- ◆ 雨水浸透マスの設置基数、貯留・浸透施設の整備量、ちばエコ農産物の認知度、WEBサイトのアクセス数は第2期行動計画の目標を達成しました。
- ◆ 透水性舗装の整備面積、生活排水処理率、河道整備延長の項目は、第2期行動計画の目標を80%以上達成となっています。
- ◆ 水辺拠点の整備箇所数、ソフト施策の実施数、水環境をテーマとした環境学習実施校数は、第2期行動計画の目標を大幅に下回りましたが、達成に向けた取組を実施してきました。

推進テーマ	取組指標	現状 2015(H27) 年度	第2期行動計画目標値 2016(H28)～ 2020(R2)年度	2020(R2) 年度実績	第2期行動計画 達成度合		
					0%	50%	100%
①雨水の貯留・浸透機能を保全・再生します	(1)雨水浸透マスの設置基数(基)	112,134基	143,640基 (31,506基増)	167,232基 (55,098基増)		175%	
	(2)貯留・浸透施設の整備量(箇所)	489箇所	1,780箇所 (1,291箇所増)	2,174箇所 (1,685箇所増)		131%	
	(3)調整池改良の実施数(箇所)	5箇所	6箇所 (1箇所増)	5箇所 (0箇所増)	0%		
	(4)透水性舗装の整備面積(m <sup>2</sup> )	437,398m <sup>2</sup>	560,590m <sup>2</sup> (123,191m <sup>2</sup> 増)	555,426m <sup>2</sup> (118,028m <sup>2</sup> 増)		96%	
②家庭から出る水の汚れを減らします	(5)生活排水処理率(%)	92.7%	94.8% (2.1%増)	94.6% (1.9%増)		90%	
③環境にやさしい農業を推進します	(6)ちばエコ農産物の認知度	2016(H28) モデル地域 :42.4%	1.2倍 (8.6%増)	52.2% (9.8%増) ※2019(R1)年度実績		114%	
④川や沼の水環境を改善します	(7)水辺エコトーンの再生	—	整備方法の確立	整備方法を確立した	—		
⑤ふるさとの生き物をはぐくみます	(8)特に重要な箇所における保全・再生取組箇所数(箇所)	0箇所	5箇所	0箇所	0%		
	(9)ナガエツルノゲイトウによる実害の解消	0箇所	1箇所	ナガエツルノゲイトウによる実害は生じていません	—		
⑥水害からまちや交通機関を守ります	(10)河道整備延長(m)	5,337m	7,995m <sup>※1</sup> (2,658m増)	8,320m (2,983m増)		112%	
⑦水辺を活かした地域づくりを推進します	(11)水辺拠点等の整備箇所数(箇所)	1箇所	25箇所 <sup>※2</sup> (24箇所増)	5箇所 (4箇所増)	17%		
	(12)ソフト施策の実施数(施策)	4施策	11施策 <sup>※2</sup> (7施策増)	5施策 (1施策増)	14%		
	(13)河川敷地の占用件数(件)	0件	3件	0件	0%		
⑧環境学習を活発にします	(14)水環境をテーマとした環境学習実施学校数(校)	69校	増加	44校	—		
⑨共感を広げ、多様な主体との連携・協働を推進します	(15)流域で開催されるイベントとの連携による広報の件数(件)	11件	61件 (50件増)	47件 (36件増)	72%		
	(16)WEBサイトのアクセス数(アクセス)	2,429アクセス/月	4,000アクセス/月 (1,571アクセス増)	4,188アクセス/月 (1,759アクセス増)		110%	

※1：河道整備延長の進捗率は、計画策定時の目標設定がなされている河川を対象とし、計画策定時の目標に含まれていない河川は、進捗率の整理には含めていません。

※2：かわまちづくり計画の変更前の目標値です。